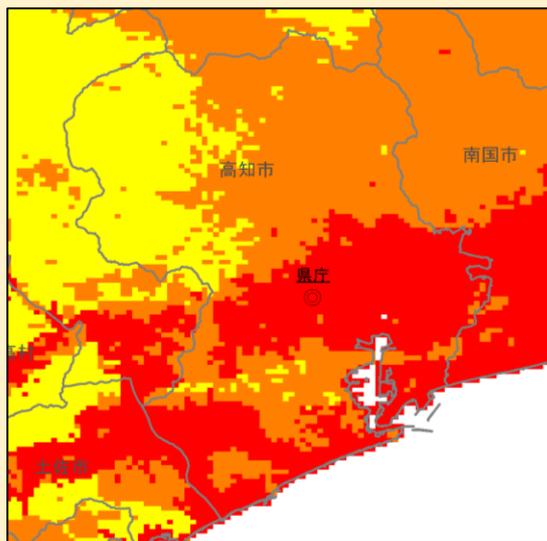


- 令和7年10月、高知県版の「南海トラフ地震による最大クラスの震度分布・津波浸水予測」が公表。
- この「震度分布・津波浸水予測」は、平成24年に高知県が公表したものを、国が令和7年3月に公表した新たな被害想定をベースに、県内の詳細なデータ（地質調査結果、堤防の整備等）などを加味して、より精緻に算出。

平成24年公表結果との比較

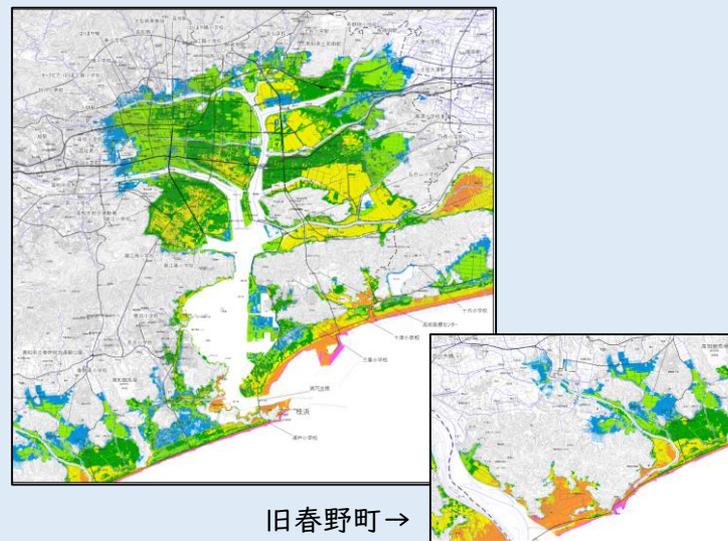
震度分布

- ・ 最大震度7で変わらず、その面積割合が11.6%
→35.6%と**約3倍増加**



津波浸水予測

- ・ 津波浸水面積は、4,689.5ha→4,367.6ha
(▲321.9ha) と約7%の減少にとどまる



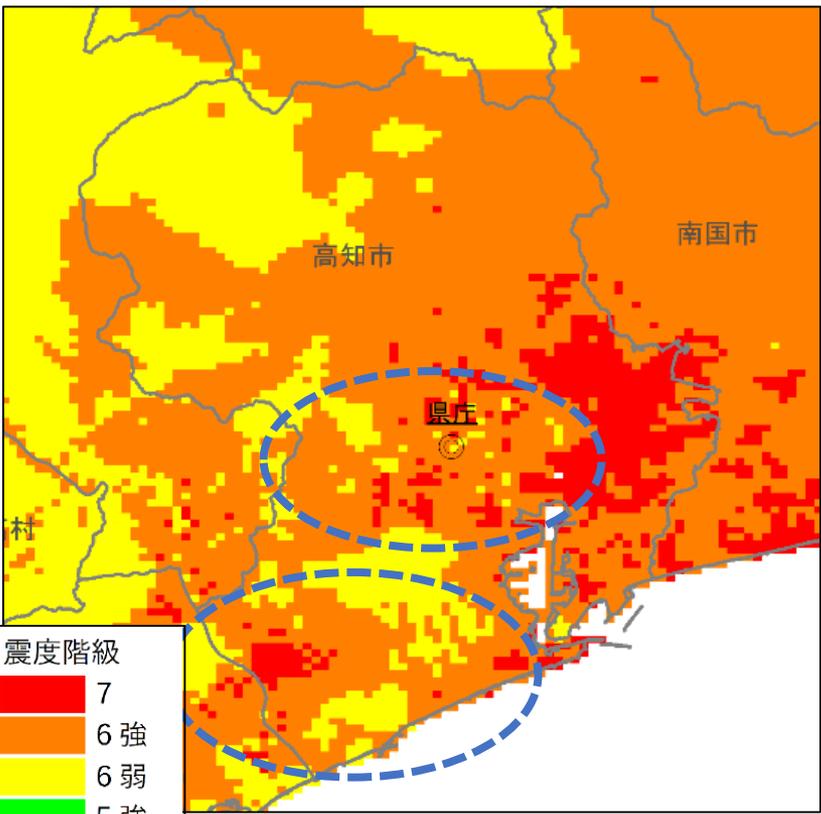
公表結果を踏まえた今後の取組

- ✓ 地震・津波ハザードマップの改訂（令和8年3月公表予定）
- ✓ 揺れから命を守る対策・・・住宅の耐震化、家具等の転倒防止、感震ブレーカーの設置推進
- ✓ 津波から命を守る対策・・・地区別津波避難計画・津波避難マップの更新、避難行動要支援者の個別避難計画作成促進

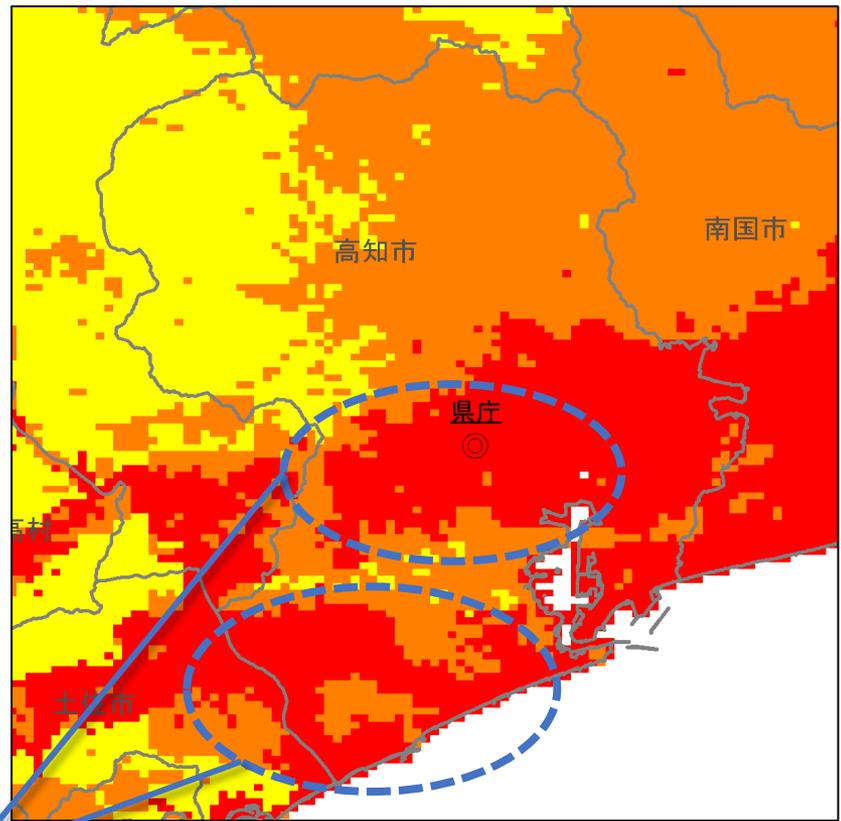
震度分布図

- 地表から比較的浅い範囲の地盤をより精緻に推定し、軟弱な地盤の震度をより適切に算出した結果、最大震度7の面積割合が11.6%→35.6%と約3倍増加
- 最大震度7の揺れを観測するエリアは、前回の結果では東部が中心だったが、今回の結果では中心部、旭や朝倉などの西部、長浜や春野など南部で拡大

【H24公表結果】



【R7公表結果】



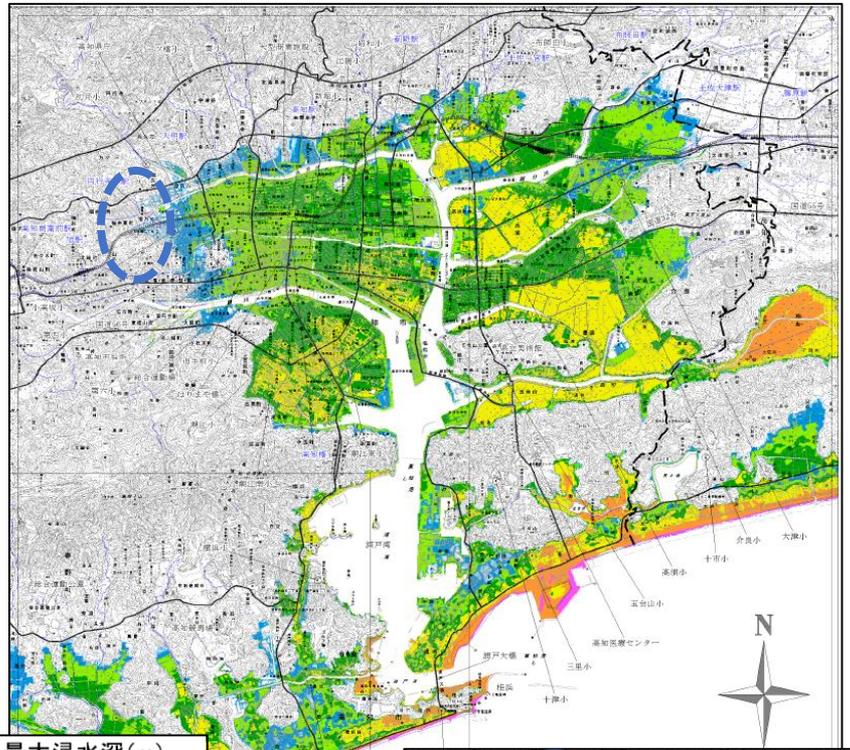
震度7の揺れを観測するエリアが、中心部、西部、南部で拡大

高知県版「南海トラフ地震による最大クラスの震度分布・津波浸水予測」の公表について

津波浸水予測図

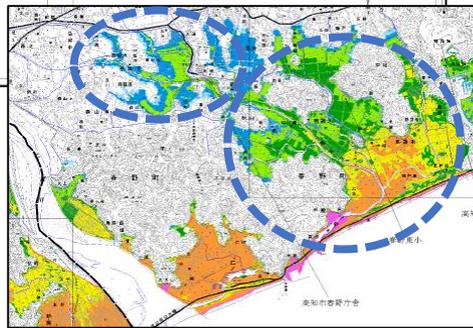
○ 全体的に大きな変化はないものの、旧高知市では初月地区や小高坂地区など、旧春野町では西分や弘岡下など、一部の地区で浸水想定区域や最大浸水深の減少が見られる

【H24公表結果】

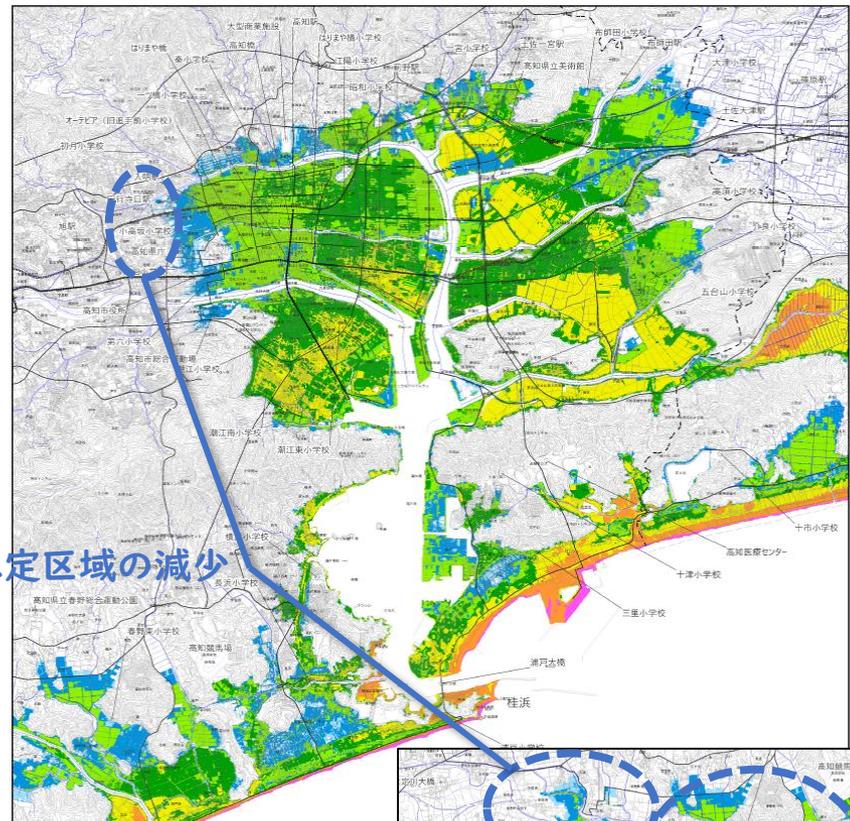


最大浸水深 (m)	
20.0 -	20.0 -
15.0 - 20.0	15.0 - 20.0
10.0 - 15.0	10.0 - 15.0
5.0 - 10.0	5.0 - 10.0
3.0 - 5.0	3.0 - 5.0
2.0 - 3.0	2.0 - 3.0
1.0 - 2.0	1.0 - 2.0
0.3 - 1.0	0.3 - 1.0
0.0 - 0.3	0.0 - 0.3

旧春野町→



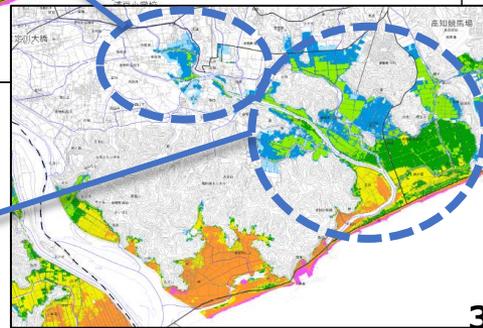
【R7公表結果】



浸水想定区域の減少

最大浸水深の減少

旧春野町→

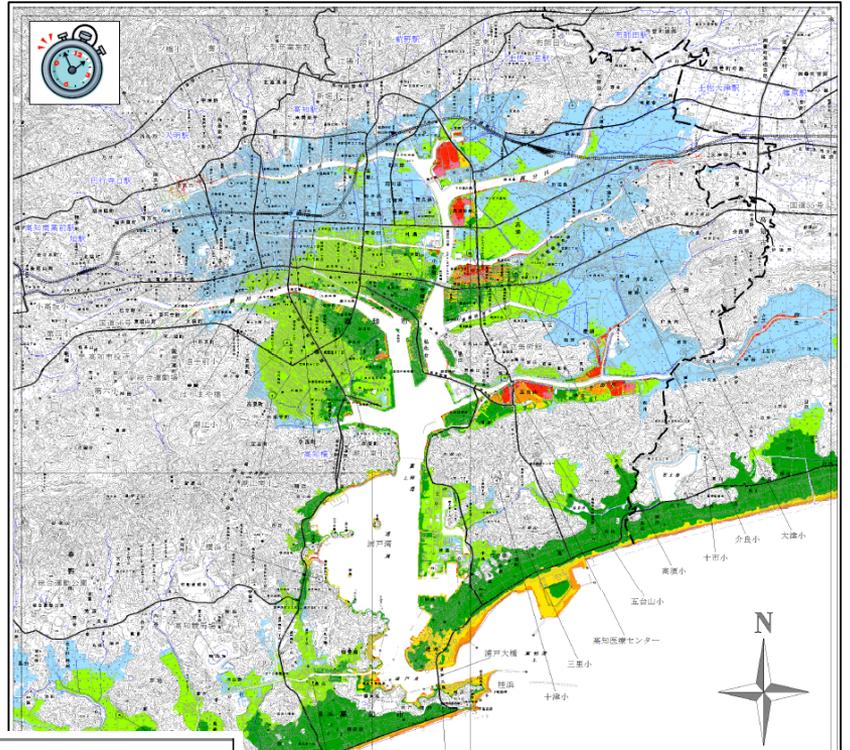


高知県版「南海トラフ地震による最大クラスの震度分布・津波浸水予測」の公表について

津波浸水予測時間図（浸水深30cm）

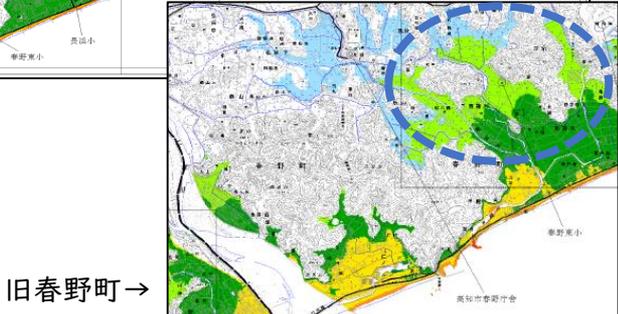
○ 全体的に大きな変化はないものの、春野地区や長浜地区など一部地区で到達時間の延伸が見られる

【H24公表結果】



到達時間（分）

60 -
40 - 60
30 - 40
20 - 30
10 - 20
5 - 10
0 - 5



【R7公表結果】

